

Avastin+ペムトレキセド療法【60分】

【呼吸器科】54【非小細胞肺癌】

(第 コース目)

*網かけ部分は必須記入事項

診療科:	病棟:
医師名:	印

身長:	cm	体重:	kg
体表面積:	m ²	Cr:	mg/dL

■レジメン 下記が1コースの投与スケジュール :3週ごとを1コースとする

Day	-8	1	8	15	~21
施行日	/	/	/	/	/
ペムトレキセド		↓	休薬	休薬	
アバスチン		↓	休薬	休薬	
パンビタン末(経口)	初回投与の7日以上前から葉酸として1日1回0.5mgを連日経口投与する。				
メコバラミン注(筋注)	↓				

メコバラミン注(ビタミンB12): 初回投与の少なくとも7日前に、1回1mgを筋肉内投与する。その後、9週毎(3コース毎)に1回投与する。

■投与順序 ※マークは同タイミング投与薬あり

滴下順	
①	デキサート注6.6mg 1V 生食 100mL 30分
②	●ペムトレキセド【 】mg 生食 100mL 10分
③	生食 50mL 10分
④	●アバスチン【 】mg 生食 100mL 1時間
⑤	生食 50mL 10分 フラッシュ

投与量	※投与量の参考	
薬剤名	標準投与量	
ペムトレキセド	500 mg/m ²	mg/Body
アバスチン	15 mg/kg	mg/Body

薬剤師	看護師	看護師

■注意・確認事項

- 致死性の喀血等重篤な副作用が起こることがある。
- アバスチンは喀血(2.5mL以上の鮮血の喀出)の既往のある患者は禁忌、脳転移を有する患者は原則禁忌である。
- NSAIDsとの併用は注意して下さい。
- 1週間以上前から葉酸を服用していることと、ビタミンB12の筋肉内注射投与を受けたことを確認すること。
- アバスチンは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目の投与は60分間で行っても良い。
- 2回目の投与においても忍容性が良好であれば、それ以降の投与は30分間投与とすることができる。
- アバスチンとブドウ糖溶液を混合した場合、アバスチンの力価の減弱が生じるおそれがあるため、ブドウ糖溶液との混合を避け、アバスチンとブドウ糖溶液の同じ点滴ラインを用いた同時投与は行わないこと。